

各地区業況アンケート結果（29年5月調査分）

（29年5月30日）

全国鉄鋼販売業連合会

5月29日締切で、当会役員151名に対しこのアンケートを行ったところ57名の回答があり（回答率40.4%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

1. 数量、金額ともDI値プラスに

問1】貴社の4月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	11	6	22	12	6	57	61
比率	19%	11%	38%	21%	11%	DI+4	DI-10
売上金額/前年同月比	15	5	21	9	7	57	60
比率	26%	9%	37%	16%	12%	DI+12	DI+10

2. 黒字は約6割

問2】貴社の4月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	11	24	15	6	1	57	61
比率	19%	42%	26%	11%	2%	DI+67	DI+80

3. 建設向けがやや減少ぎみ傾向

問3】貴社の営業窓口から見て5月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向		3	25	9	4	41	-34	-20
民間建設向		4	29	12	2	47	-25	-4
自動車向	1	2	21	4		28	±0	-13
その他需要家向		4	33	11	1	49	-18	-17
仲間取引		2	31	13	1	47	-28	-33
計	1	15	139	49	8	212	-23	-18
比率	1%	7%	65%	23%	4%			

4. 微減予測は僅か1社

問4】貴社における向う6月から8月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測		26	27	1		54	59
比率		48%	50%	2%		DI +46	DI +39

5. 薄板3品、不足が若干解消

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	品種別	A	B	C	D	E		5月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
-13	-28	-32	-27	-30	-24	-38	-28	-19	-26	-21	-28	鉄筋用丸鋼		2	16	4	1	23	-17
-21	-23	-15	-15	-15	-14	-17	-11	-5	-3	-11	-7	構造用丸鋼			24	2		26	-8
-11	-21	-11	-12	-8	-3	-8	-7	-5	-3	-7	-7	平角鋼			26	2		28	-7
-7	-16	-9	9	4	16	26	58	38	26	21	7	H形鋼		2	23	1		26	4
-26	-38	-19	-14	0	4	0	18	0	-23	-4	0	コラム		1	16	2		19	-5
-12	-19	-10	-8	-10	-10	7	6	2	-6	-3	-3	小形山形鋼			28	2		30	-7
-15	-22	-17	-18	-16	-10	7	11	7	-6	-12	-6	中形山形鋼			27	3		30	-10
-21	-29	-18	-24	-7	-10	3	15	10	3	-12	-9	溝形鋼			26	3		29	-10
-64	-36	-22	-19	-19	-14	-13	-11	-9	-20	-15	-11	軽量形鋼C形		1	24		1	26	-4
-32	-33	-17	-28	-22	-20	-20	-20	-12	-19	-10	-9	軽量形鋼広巾		1	16	1		18	0
-41	-55	-43	-44	-33	-23	-15	4	36	32	39	28	冷延薄板		6	15	2		23	17
-35	-40	-35	-29	-20	-19	-6	-3	21	22	16	17	熱延薄板		2	22	2		26	0
-46	-50	-53	-34	-27	-22	-7	26	62	42	58	56	表面処理鋼板	2	7	19	2		30	30
-45	-48	-48	-29	-27	-22	-18	33	100	89	85	57	酸洗鋼板	2	11	13	1		27	52
-32	-30	-23	-22	-24	-23	-9	3	30	38	23	14	中板		2	28	2		32	0
-27	-16	-21	-20	-24	-23	-6	-5	18	16	10	-3	厚板		3	25	5		33	-6
-11	-11	-4	0	-13	-5	-7	-11	25	22	5	-6	極厚板			17	1		18	-6
-30	-11	-21	-17	-14	-11	-8	-14	-11	-11	3	-7	縞板		1	26	1		28	0
-32	-28	-26	-24	-22	-23	-20	-15	-16	-18	-23	-6	中径角			25	6		31	-19
-25	-33	-26	-17	-12	-17	-16	-15	-16	-8	-12	0	ガス管黒		1	27	4		32	-9
-27	-23	-31	-25	-16	-15	-17	-13	-11	-12	-9	3	構造用鋼管			29	3		32	-9
-28	-28	-24	-20	-17	-14	-8	2	11	6	7	4	計	4	40	472	49	2	567	-1

6. スクラップ価格の動向を懸念

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	スクラップ価格が下がったが、メーカーは価格を下げず高止まりであった。自らが市況作りすることが必要である。
	B	現状の荷動きは悪いが、来月以降ファブの稼働が良くなるようなので期待している。仕入高による価格転嫁は道半ばで、関東からの盛上りに期待する。
	C	酪農関連が順調に発注されている。ファブは満杯の状態である。
東北	A	物件は増え、単価も上ってきている。どちらも下らないことを期待する。
	B	予想以上に暇である。一次加工も前年割れ。価格転嫁が進まない。
	C	物件が出始めてきているが、大きな物件は商社絡みである。仕事がしづらい。スクラップ価格が下り、先行き不透明である。
	D	大型連休中のスクラップ急落により、電炉製品市況に与える影響が心配である。当地区の需要は建築、土木、官民とも全く振るわない。
新潟	A	スクラップ価格の下落が、価格転嫁の夏バテに繋がらないことを祈る。
	B	3～4月と依然、盛上りに勢いはない。単価の上乗せも仕入れ価格に追いつかず停滞している。6月以降に期待。
	C	(薄板)建築金物は端境期で低調、住宅関連は昨年比で増、自動車関連は踊り場状態である。(ファブの状況)Hグレード業者は首都圏案件中心に高稼働を維持し、夏場以降の物件にも目途が立っている。Mグレード業者は目先、小口、短納期物件の仕事をこなしているが、7月以降は不足感を持っている。一般製造業者は業種によって濃淡があるものの総じて低位横ばいである。特に土木関連の動きが悪い。価格はメーカー値上げ分の転嫁が段階的に進み、紐付き価格も上期にメーカーが値上げを実行予定のため店売りを含め先高感が続いている。
	D	相変わらず需要が少ないが、先々の引合いは増加傾向である。仕入が上った分、販売価格に転嫁したいが、競争が激しく転嫁しきれていない。我慢の為所である。
	E	構造用鋼は値上げ前の仮需の反動か、現状やや不調である。
	F	中小建築物件が出始めたので、ファブは全体的に仕事が埋まり始めた。
東京	A	メーカー値上げの転嫁が進まず、厳しい状況である。このままでは、好稼働状態にもかかわらず、逆ザヤ商売になってしまう。
	B	不需要期を上げ相場で乗り切るか、売上主義で安売りに走るか、足元正念場である。
	C	(鋼管)連休明けの出荷量が予想に反して低調であり、市況は横ばいで推移している。
	D	市況は横ばいで推移している。やはり需要の伸びが感じられないからだろう。また、原料価格の要因でメーカー対応の変化が感じられることもあるかもしれない。
	E	エネルギー関係の需要が出ていない。
静岡		地元大手ファブはGW後も仕事感に乏しい。新年度(第1四半期)は昨年同様、流通としては苦しい出だしである。調達品リストを頂いたが、ロール対応しても間に合う物件である。相変わらず足元の仕事は薄い。土木案件を多々見積りしたが、うんともすんとも返事がこない。価格対応している会社が勝者なのか。6月に入れば様変わりするのか分からない。零細企業は苦しい状況である。

石川		モノ造り、建設ともに中だるみ傾向で、形鋼の安売りが目立つ。トラックの運転手不足、溶接工不足、現場職人不足は慢性化しているが、最近は土曜休日が増えている。若年労働者対策として、あらゆる業種に広まっている。モノ造り、建設ともにスロースペースになりつつある。意識の切り替えをしないと売り過ぎる弱者が出てくる。
富山		見積りはあるが、なかなか決まらない。県内では大型案件はなく、小中物件のみ。常識外れの価格設定をしている業者が出てきた。安売りして受注するのは新入社員でもできる。
福井		高浜原発4号機が、5月17日から再稼動した。1年3ヶ月ぶりの運転再開となり、以降も高浜3号機、大飯3、4号機と再稼動が見込まれる。万全の安全対策と地域経済の活性化に期待したい。
岐阜	A	低調な荷動きは変わらない。鉄スクラップの軟化から価格転嫁も一服状態である。品種によって、流通で安値受注の声も聞かれる。市況観をもった対応をしてほしい。
	B	大型物件が少なく、中小物件ばかりで材料の荷動きが悪い。建機、工作機械も動きが鈍い。価格転嫁が進まない。現実的に市況は、この先も変わらないと予測する。
愛知	A	景気は堅調である。どの業種もしっかりしている。特に設備関連が良い。
	B	当地区の建築案件は観光客等を見込んで件数はある。加工の遅れから明細は出遅れがちだが、逆手にとれば高原状態が長く続くとも考えられる。スクラップの状況が不安定なので、一部、指値が厳しくなっているが、高炉が更に値上げを表明しており、電炉も引く気配が見られない。状況次第で流通の採算確保が厳しくなってくるだろう。
	C	前年に比べ少しは良いが、好調とは言えない。現時点では一番の課題は値上げの問題である。自動車は決着したが、他の大手紐付きがすっきりしていないのか。下請けはある程度、認めているが抵抗は強い。流通としては、メーカーの値上げ分を何とか転嫁しなければならぬ。
	D	自動車はM社向けが不振、T社向けは好調と明暗を分けている。家具はシーズンはじめ、良くなかったが、後半少し挽回した。値上げ転嫁は完了している。アウトメーカーによっては、値上げゼロのところもある。先行きは読みづらい商況。
大阪		民間建設部門は端境期または大型連休のせいか動きが悪い。5月下旬頃より多少着工物件は増えてきたそうだが、本格的に動き出すのは7月以降かと思われる。公共工事も継続案件を除き、空白期間に入っている。動き出すのは早くも7月、8月頃となる見込みである。
福岡		4月は業種的に二極化傾向であった。特に自動車関連、半導体については活発な動きである。また、特殊車両、メーカーにおいても排ガス規制に向けて忙しい状況である。その他の業種については去年並である。5月連休明けの動きが、まだ見えていないので不安である。今期もどれだけ短納期受注で対応できるかが勝負なので、お客様の情報を取りに行きたい。